



あなたの
近くの工務店
24社の実例を
一挙掲載!

あなたの家づくりを
シミュレーション!
家づくり
カレンダー2012
イマドキの工務店は
ココがすごい!
イマドキ!
工務店ジャーナル



地元で評判の 工務店 で建てた家

2012年 東日本版

腕はもちろん、センスも GOOD!



ホームパーティにも対応。 モダンスタイルの住まい

神奈川・横浜市 平澤さんの家

家族構成／夫43歳 妻43歳 長女7歳 次女3歳
本体工事費／2200万円



EAST | KANAGAWA

ワイズ

湘南の気候・風土・地域性を知り尽くし、独自の建材も開発して、オリジナリティを追求。設計から施工まで妥協のない家づくりにこだわる

PROFILE

ワイズのこだわりは妥協しない家づくり。湘南の潮風や陽光の影響などを考慮して、担当の設計者が納得いくまでプランは何度でも検討を重ねる。建主の要望について採用時のメリット・デメリットを伝え、お互いに納得のいくまで話し合いをしている。外装材・キッチン・階段・シャッターなど、オリジナル建材も開発し、住宅の質の向上に努めている。

DATA

社名／ワイズ
代表／山本康彦
住所／〒253-0021
神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-64
☎0467・88・3903
年間建築棟／新築7棟
社員数／5名
建築地域／湘南を中心に神奈川県全域
設立／1993年7月
定休日／水曜日、第1・3火曜日
アフターメンテナンスの対応
・要望に応じて随時実施



同社で現在力を入れている左官材・瀬戸漆喰。独自の仕様について常に検討を重ねている

COMMENT

独創的な間取りや意匠には必ず理由があるもの。敷地や予算など諸条件におけるデメリットは、設計・施工の工夫を引き出し、最高のチャームポイントになりえます。大切なのは創意工夫。さぁ一緒に家づくりませんか？

右はワイズのシンボルマーク。会社設立時に代表の山本さんが自らのイニシャルをもとにデザインしたものだ。ワイズの建てる住宅の多くには、建主からの要望により、このマークが建物の外壁に掲げられている。





1. 特注のつや消しの黒で塗装したサイディングに、ワイズオリジナルのRC調モルタルで仕上げた玄関回りの外壁を組み合わせた。落ち着いた雰囲気の外観に。モダンなデザインに木の格子が柔らかなさを加えている 2. ウッドデッキには大工の手によるテーブルとベンチを置いて、アウトドアリビングに。2階のバルコニーの出が、雨や日射の直撃からさりげなく外壁面を守っている 3. 玄関からすぐにアクセスできるLDK。オープンな雰囲気心地よい

ウッドデッキにも続くオープンなリビング

住宅地の中で、自然と視線が引き寄せられる、確かな存在感を放つ黒い建物が平澤邸だ。

設計・施工を手掛けたのは、ワイズ。横浜から湘南にかけて、シヤープなモダンスタイルの住まい

を供給しているビルダーだ。

「施工例がいくらでもスタイリッシュで魅力的でしたね。私はバスケットとの付き合いが多いので、ホームパーティを開きやすい間取りをリクエストしました」(夫)

玄関からリビングへ足を踏み入れると、フラットに連続するLDKに出迎えられる。床に張られたの

は、ローズウッド色に塗装した杉の無垢材。自社工場で作られている厚さ30mmのオリジナルフロア材だ。明るく洗練された印象に温かみと落ち着きが加わった空間に。

リビングには3畳の小上がりの和室も備えられた。床から30cmの段差を付けたので、縁に腰掛けることもできる。

リビングの外には10畳大のウッドデッキも据えられた。掃き出し窓からひと続きの場として使うことができる。「背の高いメンバーが集まっても、開放感があるのでくつろげますね」と夫。

家の内外を有効に生かしたプランニングによって、暮らしの楽しみ方が広がっているようだ。



得意技 デザイン

すべての要素を吟味

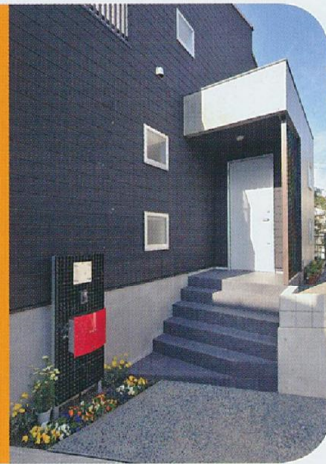
何気ない階段と手すりや窓の組み合わせも、一つひとつの要素を細かく吟味し、バランスを整えて美しい意匠に仕上げる。建主の思い入れを反映させるため、設計者と施工者が一体となってデザインに取り組む。その妥協のなさが同社の仕事の特色となっている。



注目 オリジナル

自社開発の部材を活用

ワイズでは自社の設計方針に合わせて、独自の部材をいくつも開発している。写真のポストやRC調モルタルの外壁仕上げのほか、塩害に強いシャッター、オールステンレスのキッチンなど多岐にわたる。「ないなら自分たちでつくろう」というのが同社の姿勢だ。



感触の優しい無垢材。
素足で歩きたくなります



DATA

敷地面積 / 148.59㎡ (45.03坪)
 延床面積 / 108.38㎡ (32.84坪)
 1階 / 58.69㎡ (17.78坪)
 2階 / 49.69㎡ (15.06坪)
 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
 建ぺい率 / 40%
 容積率 / 80%
 構造 / 木造軸組工法
 本体工事費 / 2200万円
 竣工 / 2010年8月

INSTRUMENTS

キッチン / オリジナル
 窓 / サッシ / トステム
 LDの照明器具 / オーデリック

撮影 / 後藤徹雄
 取材・文 / 渡辺圭彦

1. 無垢材の床に日が差し込み、温かみのあるリビングに。ワンルームの団らん場として機能する。2. キッチンには両サイドから回り込めるアイランド式。通路も広めに確保しており、家族や友人が気軽に立ち寄れるようになっている。3. シンプルな洗面台を造作。スッキリとした水回りに。4. 2階の寝室はコンパクトに。あまりつくり込まず、将来の家族の変化にも対応できるようにしている。5. 子ども室は日当たりのいい南側に。2階の床材はコルクタイル。階下への音や振動を吸収する。



2F



1F



自慢 収納

視界を妨げない設計に

キッチンでは壁面の厚みを利用して、料理の本などを収めるマガジンラックを造り付けた。すっきりとした視界を保つため、大容量のウォークインクローゼットや小屋裏収納を用意するなど、モノはなるべく目に触れないように設計されている。



建主の MY FAVORITE

和室の畳の下には、30cmの段差を利用して床下収納をつくってもらいました。アウトドアグッズのようにかさばるモノや季節違いのモノなどもすっきりとしまえます。室内なの



で取り出すのも苦になりません。子どもの成長にしたがってモノも増えそうなので助かりますね (妻)。

